

4. 評価指標

指標名		現状	目標	指標の説明・目標設定の考え方
①	心肺機能停止傷病者の1か月後の生存率	12.1% (全国平均12.9%) (平成29年から令和3年までの平均)	12.9%以上 (令和6年から令和11年までの平均)	救急隊の現着時間の短縮や一般市民に対する救急蘇生法等を指導する救命講習の普及促進により、全国平均以上を目指す。
②	救急車により救急搬送された患者のうち、入院加療を必要としない軽症者の割合	33.4% (全国平均44.8%) (令和3年)	33.4%以下 (令和11年)	適切な医療機関の受診を周知啓発し、全国平均以下を維持し、更なる改善を目指す。
③	救急要請(入電)から救急医療機関への搬送(医師引継ぎ)までに要した平均時間	39.7分 (全国平均42.8分) (令和3年)	39.7分以下 (令和11年)	県民への医療機関情報の提供を行い、適切な医療機関の受診を周知啓発するとともに、救急搬送体制を強化して全国平均以下を維持し、更なる改善を目指す。

第8次熊本県保健医療計画 現状把握のための指標一覧
(救急医療)

病期・医療機能	SPO	重点●	指標名	調査の詳細		データ											単位	評価指標として使用	
				調査名	調査年(調査周期)	全国	熊本県		二次保健医療圏ごと										
							数値	全国順位	熊本・上益城	宇城	有明	鹿本	菊池	阿蘇	八代	芦北			球磨
救護	S		運用救急救命士数	救急救助の現況	R4.4.1(毎年)	625	434	25	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	人
			運用救急救命士数(10万人あたり)	救急救助の現況	R4.4.1(毎年)	23	25	-	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
救護	S		気管挿管資格者数及び処置拡大2行為資格者数	-	R4.4.1(毎年)	-	気管挿管有資格者率55% 処置拡大2行為有資格者率99%	-	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	%
救護	S		住民の救急蘇生法の受講者数	救急救助の現況	R3(毎年)	37	13	44	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	人
救護	S		救急車の運用数	救急救助の現況	R4.4.1(毎年)	139	122	19	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	台
救護	S		救急車の運用数(1万人あたりの出動件数)	救急救助の現況	R3(毎年)	491.2	488.2	18	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	台
救護	S	●	救急搬送人員数	救急救助の現況	R3(毎年)	116,845	77,765	21	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	人
			救急搬送人員数(10万人あたり)	救急救助の現況	R3(毎年)	4,355	4,474	-	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
救護	S		AEDの設置台数	-	R5.6時点	7,398	6,249	-	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	台

病期・医療機能	SPO	重点●	指標名	調査の詳細		データ											単位	評価指標として使用		
				調査名	調査年(調査周期)	全国	熊本県		二次保健医療圏ごと											
							数値	全国順位	熊本・上益城	宇城	有明	鹿本	菊池	阿蘇	八代	芦北			球磨	天草
救護	P		心肺機能停止傷病者(心停止患者)全搬送人員のうち、一般市民により除細動が実施された件数	救急救助の現況	R3(毎年)	37	18	23	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	件	
救護	P		救急車の受入件数	救急搬送における医療機関の受入状況等実態調査	R3(毎年)	20,700	21,214	17	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	件	
救護救命医療	P	●	救急要請(覚知)から救急医療機関への搬送までに要した平均時間	救急救助の現況	R3(毎年)	40.6	38.9	29	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	分	○
救護救命医療	O	●	救急車により救急搬送された患者のうち、入院加療を必要としない軽症者の割合	救急救助の現況	R3(毎年)	44.8	33.4	-	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	%	○
救護救命医療 入院救急医療	P	●	受入困難事例の件数	救急搬送における医療機関の受入状況等実態調査	R3(毎年)	407	105	31	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	件	
救護救命医療 入院救急医療 初期救急医療 救命後の医療	P		2次救急医療機関等の救急医療機関やかかりつけ医、介護施設等の関係機関が参加したメディカルコントロール協議会の開催回数	-	R4年度中	-	17	-	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	回	
救護救命医療 入院救急医療 初期救急医療 救命後の医療	O		心肺機能停止傷病者(心停止患者)の一ヶ月後の予後	救急救助の現況	R3(毎年)	11.1	10.8	-	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	%	○

病期・医療機能	SPO	重点●	指標名	調査の詳細		データ											単位	評価指標として使用	
				調査名	調査年(調査周期)	全国	熊本県		二次保健医療圏ごと										
							数値	全国順位	熊本・上益城	宇城	有明	鹿本	菊池	阿蘇	八代	芦北			球磨
救護、救命医療、入院救急医療、初期救急医療、救命後の医療	O		心肺機能停止傷病者(心肺停止患者)の一ヶ月後の予後	救急救助の現況	R3(毎年)	6.9	7.3	-	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	%
救命医療入院救急医療	S		救急担当専任医師数	医師・歯科医師・薬剤師調査	R3(毎年)	3310	50	-	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	人
			救急担当専任看護師数	医師・歯科医師・薬剤師調査	R3(毎年)	18488	263	-	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
救命医療	S		救命救急センター数	救急医療体制調査	R5.6時点	300	3	-	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	箇所
救命医療	S		特定集中治療室のある医療機関数(病院数)	医療施設調査	R3(毎年)	674	8	-	5	0	0	0	0	0	2	0	0	1	箇所
			特定集中治療室のある医療機関数(病床数)	医療施設調査	R3(毎年)	-	74	-	61	0	0	0	0	0	12	0	0	1	床
救命医療	P		救命救急センター充実段階評価Aの割合	救命救急センターの充実段階評価	R3(毎年)	94	66.7	-	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	%
入院救急医療	S		2次救急医療機関数	救急医療体制調査	R5.6時点	-	88	-	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	箇所
初期救急医療	S		初期救急医療施設数	医療施設調査	R3(毎年)	-	37	-	17	2	1	2	2	3	2	1	3	4	箇所

病期・医療機能	SPO	重点●	指標名	調査の詳細		データ												単位	評価指標として使用		
				調査名	調査年(調査周期)	全国	熊本県		二次保健医療圏ごと												
							数値	全国順位	熊本・上益城	宇城	有明	鹿本	菊池	阿蘇	八代	芦北	球磨			天草	
初期救急医療	S		一般診療所の初期救急医療への参画率	医療施設調査	R3(毎年)	-	49.7	-	44.4	66.2	53.1	54.8	50.4	44.2	55.4	55.8	67.1	47.5	%		
救命後の医療	S	●	転棟・退院調整をする者を常時配置している救命救急センターの数	救命救急センターの充実段階評価	R3(毎年)	167	3	-	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	箇所	
救命後の医療	P		救急入院患者における退院調整・支援の実施件数	NDB	R3(毎年)	-	29	-	18	0	3	0	0	0	3	0	0	5	箇所		
-	P		「熊本型」救急搬送体制によるヘリ運航件数(令和4年度)	-	R4(毎年)	-	717	-	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	件	